

令和4年度 丹生公民館事業報告

1 運営方針

(1) 基本方針

学びの拠点と地域づくりの拠点の2つの役割を両立させ、地域の皆様の役に立ち、皆様に愛される公民館を目指します。

(2) 重点施策

- これまで公民館にあまり足を運ばなかった若年層に参加してもらえそうな事業を企画・実施します。
- 地域の各種団体と連携を深め、地域づくりを推進します。
- 地域住民のやりがい、生きがい、仲間づくりを支援します。
- 子ども向けの体験学習事業を推進します。

2 事業実績

対象	事業名	講座名	実施月	延人数	回数	主催 共催
小学生	青少年教室	夏休みこども体験教室	7月	8人	1回	主催
		親子料理教室	8月	7人	1回	主催
成人	健康講座	健康気功教室	4月～6月	38人	12回	主催
		ヨガ教室	6月～10月	21人	10回	主催
	文化講座	寄せ植え教室	5月	9人	1回	主催
	ものづくり学習	編物教室	4月～3月	136人	19回	主催
		エコクラフト教室	8月～3月	114人	14回	主催
		ワイヤークラフト教室	6月	9人	1回	主催
	食育学習	そば打ち教室	12月	9人	1回	主催
		みそ作り教室	2月	8人	1回	主催

高齢者	高齢者学級	コスモス教室	5月～2月	31人	5回	主催
-----	-------	--------	-------	-----	----	----

3 主な事業紹介

(1) 講座名

夏休みこども体験教室

①ねらい

新型コロナウイルスで夏季休業中の子どもたちの行動も制限される中で、友人たちと一緒に本物に触れ学ぶことで学習意欲の向上につなげます。

また夏季休業中の自由研究や自主学習のきっかけとなることを目的とします。

②事業内容

開催月：7月

講師：群馬県立自然史博物館職員

内容：化石ミニ発掘体験

化石ミニ発掘体験では、プリン型に固めた土の中の化石を、トンカチとタガネ、先の削った割り箸を使って発掘体験をしました。

(2) 事業の評価・反省

群馬県立自然史博物館は市内にありますが、コロナの影響で気軽に行くことができなくなりました。出前講座での化石ミニ発掘体験をして、直接行ってもっと学びたいという子どもたちの意欲も感じられました。

4 今年度のまとめ（反省と評価）

評価	評価理由、主な取組、工夫した点、課題等
3	学習面では地域住民の高齢化により教室・講座などの参加者が減少しているが、新しい企画などで住民の意欲を増進している。地域づくりでは各団体の活動を見直し、組織の統廃合や事業の統一などに取り組んだ。小学校の廃校が決まったので地域の活力を維持向上するため活動の更なる見直しが必要。

◎評価の基準：+5=大変よくできた。24=よくできた。3=おおむねできた。

42=あまりできなかった。51=できなかった。